

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する  
保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします  
3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします  
保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

### こりす 2歳児クラス便り

令和5年11月21日

文責 大角 千代美



寒くなりましたが、子ども達は穏やかな日差しを受けて元気いっぱい園庭を駆け回っています。時には冷たく吹く風に「ひゅううつ～」と風を真似たような声をあげて表情をこわばらせたりしています。それでも、また日向にいると元気な笑顔に戻ります。寒さも日に日に本格的になってきているので体調に合わせてながら、なるべく外で楽しく遊んでくれるように促したいと思います。

### 頼もしい歩きと元気

### ～お弁当の日～

月に1度のお弁当の日。子ども達にとっては特別な日です。いつもは不機嫌や泣きながら登園する子もお弁当の日だけは笑顔でニコニコ顔。「先生、今日はどこに行くの?」「早く行くよ」と催促されます。散歩に行く前の排泄や水分補給は常日頃やっているので言葉で伝えるだけですぐさま行動しては「終わったよ」「準備出来たよ」と頼もしい言葉が聞かれます。今回は思い切って榎木段公民館まで歩いて見ました。気候も良く子ども達の体調も良好です。坂元郵便局から鎌田建設の方向に歩き暫く進むと芋の集荷にクレーン付きトラックが止まっていた。子ども達は数メートル前から「なんか音がする」「何の音、行ってみよう」と小走りに足を進め見つけると「あった。あれだよ」「クレーン車だね」と嬉しそうに顔を見合わせます。芋の袋を2袋持ち上げてトラックに積み終えたところで「もう行こうよ」と先に進みます。柚子や柿の実、烏瓜を見つけたり、椿の実やドングリを拾ってはポケットに入れて喜ぶ子ども達。民家の木戸から車いすを押した高齢の親子が出てこられると「こんにちは」とビックリするくらい大きな声で挨拶。「元気だね。」「何歳?」の質問にも躊躇することなく「2歳」「僕は3歳」「昨日誕生日だったんだ」とはっきりと受け答えする子ども達でした。途中途中で休憩を挟みながらの1時間40分、榎木段公民館に到着。「ここで、ご飯食べるの」「早くシート敷かないと」「先生、手伝って・・・」と忙しく動き出しトイレを済ませてからのお弁当は格別。「トマトが入ってる」「ブロッコリ、一緒だね」「から揚げがあった」と弁当のおかずを仲良し同士「おんなじだね」と喜び合う子ども達。時には自分の意図が相手に伝わらなくてトラブルになる事もありますが友達と関わる楽しさが確実に育っていると思います。お弁当を食べ終えた子から「もう帰るよ」と帰り支度。「もう、帰るの?」と訊ねると「うん、かもしかさんの所に行くんだよ」とのこと。手前の公民館にかもしか組の3、4歳児がいる事を知っている子ども達は合流したくてたまりません。早々にお弁当を片づけて歩道を公民館までひとつ走り。あこちゃん、よしひろ君はお兄ちゃん、お姉ちゃんに抱きつき嬉しそうです。帰りはかもしか組のお兄ちゃんやお姉ちゃんの力を借りて最後まで歩き通した子ども達の顔は満足感と達成感で晴れ晴れとしていました。(この日の歩数 10400歩 距離にして6キロ位です)

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。  
受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決 責任者 園長 中根 賢誠  
第三者委員 丸田瑞穂(099-482-2927) 横峰 友里子 (099-474-1506) 山口 和美 (090-5473-5866)